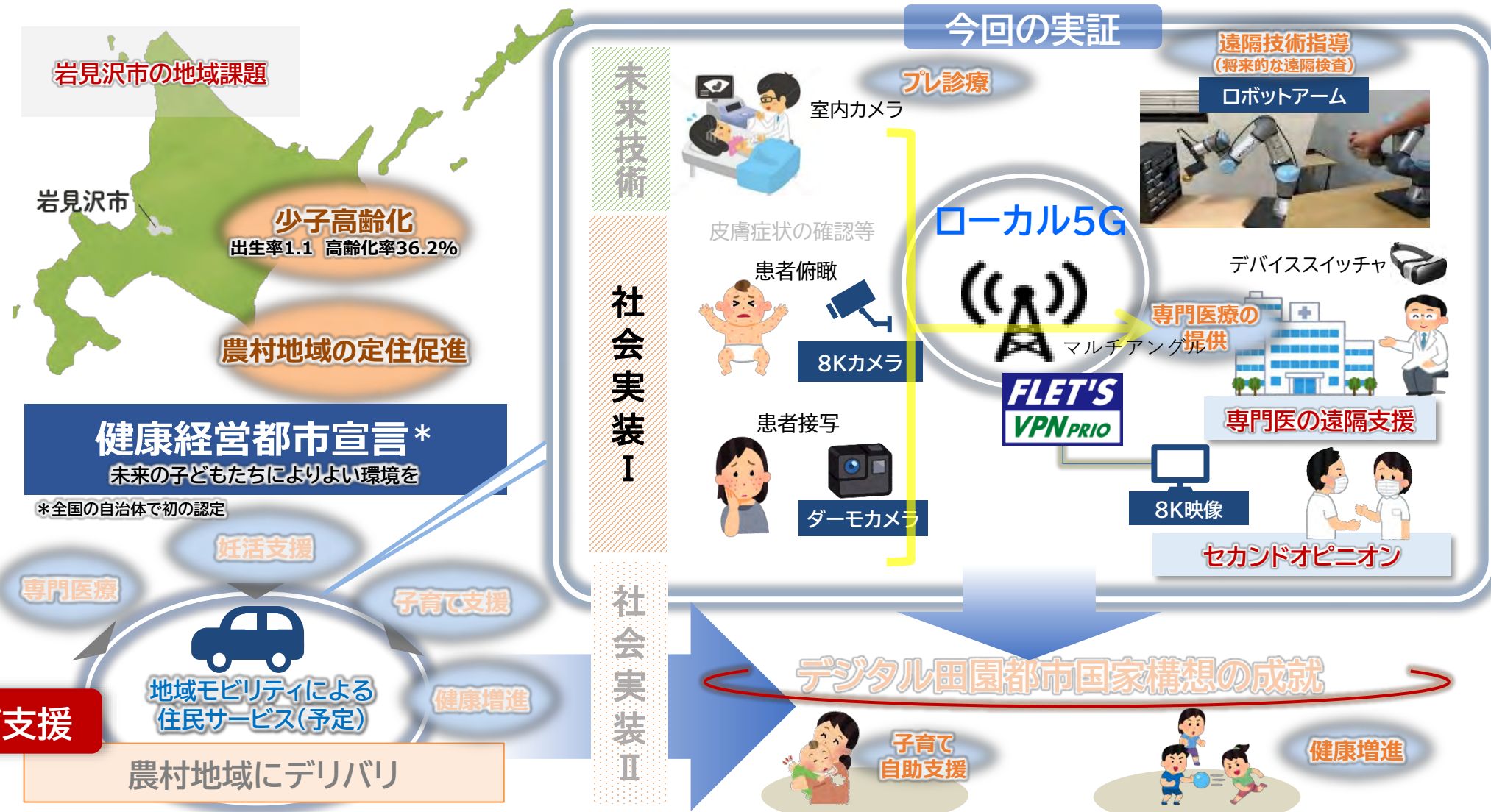


少子高齢化、農村地域の定住促進など地域の課題解決

社会実装を踏まえた地域取組との連携を前提としたサービス性の向上、ロボット等の未来技術の先行実証





自動運転EVバス走行実証 (2022年12月)



EVバス車内でのケアサービスの模様



経済面

Sustainability

●スマート農業実装プロジェクト

テーマ：遠隔監視制御 開始：2018年度～ 連携：北海道大学、NTTグループ 他

●データ駆動型農業（農業DX）

テーマ：マーケット×新たな生産環境（土壌物理性改善等） 開始：2022年度～ 連携：北海道大学、JA 他

●地産地消型エネルギー（発電）

テーマ：ナノグリット機能実装 開始：2021年度～ 連携：北海道大学、日立製作所 他

生活面

Well-Being

●健康・少子化対策プロジェクト(COI&COI-NEXT)

テーマ：少子化、学びの場形成 開始：2015年度～ 連携：北海道大学、筑波大学、北里大学、森永乳業 他

●地域通貨プラットフォーム

テーマ：インセンティブの域内経済流通、市民の生活行動変容、 開始：2022年度～ 連携：商工会議所 他

●遠隔医療・健診機能

テーマ：ルーラルエリアにおける安心感醸成 開始：2022年度～ 連携：NTT東日本、北海道大学病院 他

●MaaS×健康

テーマ：ルーラルエリアにおける安心感醸成 開始：2022年度～ 連携：マクニカ、ハイヤー協会 他

●デジタルスクールネットワーク

テーマ：国内外との学生（高校生）間のコミュニケーション 開始：2019年度～ 連携：シスコシステムズ 他

地域の未来（将来像）に向け 目的を共有・共感する産学官が連携し、バックキャストで施策を展開



スマート農業関連プロジェクト
(北海道大学大学院農学研究院、NTTグループ等)



北海道大学COI拠点プロジェクト

第9回プラチナ大賞（総務大臣賞）
第3回日本オープンイノベーション大賞（日本学術会議会長賞）
第10回健康寿命をのぼそう！アワード（厚生労働大臣優秀賞）

デジタル技術を用いて地域社会を変えていく

市民生活のDX

- ・ 学びの場
- ・ 買い物/移動サービス
- ・ エネルギー
- ・ 健康経営都市

不可欠な社会基盤としてのデジタル基盤 (ICT・未来技術)

- ・ 5G、L5G/Beyond5G
- ・ 地域BWA(LTE)、LPWA
- ・ クラウド/エッジDC
- ・ 地域PF . . .

経済活動のDX

- ・ データ駆動型農業
- ・ 在宅就業

- ・ 農農業経済分析や土壌解析などデータ駆動型農業の実践
- ・ スマート農業の社会実装
(ビッグデータ解析によるスケジュール最適化)
- ・ 在宅就業ビジネスのさらなる普及促進
- ・ DX関連企業誘致

自動走行トラクター遠隔監視制御
自動走行トラクター等の圃場内作業、複数台同時作業、圃場間移動の遠隔監視下での安全な運用の実現



自動走行農機の「遠隔監視制御」

行政サービスのDX

- ・ 電子申請
- ・ どこでも窓口



- ・ スマート/デジタル自治体の推進
(徹底した利便性向上と業務の効率化)

- ・ 未来人材育成拠点整備
 ※北海道大学「地域共創の場拠点」と連携
- ・ リカーリング/サブスクリプションサービスの社会実装
- ・ 地産地消型地域エネルギーシステム活用
 EVの連携による日常生活支援サービスの構築
- ・ 健康経営都市施策の推進
 家族健康手帳アプリ/健康予報システム
 母子健康調査

市民が「デジタルを使いたい」と感じる事が大切
～使いたいと思った時に「出来る(使える)環境」を構築し、利活用の深化と他地域への横展開を推進～

地域の持続性確保に向けて・・・

●デジタル技術活用は不可欠

- ・スマート農業をはじめデータ駆動型農業には、農地を含めた基盤が不可欠
→光ファイバとローカル5Gなどの無線を上手に配置
- ・エッジ側（ローカル側）で柔軟にコントロールできる機能実装は不可欠
→そのための「デジタル人材」が地方にこそ必要

●ビジョンの共有とバックキャスト思考

- ・市民とビジョンを共有
→ファクトやエビデンスに基づく「相互理解」と「気づき」
- ・バックキャスト思考
→産学官が連携し、幸せな未来（ライフデザイン）を描くことのできる社会へ

遠隔監視制御（Lv3）のビジネスモデル化を含め、ビジョンを共有する産学官連携のもと未来技術の社会実装にチャレンジしていきたい